

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく  
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 野々村祝夫・大阪大学医学部泌尿器科・教授

研究要旨（腎癌臨床データベースの現状と将来）  
日本泌尿器科学会において行われてきた腎癌登録事業と2018年から始まった  
NCD登録における腎癌の手術症例に関する登録状況を比較した。NCD登録は専門  
医制度と紐付けされているためか、2019年における症例が約10000例登録され、  
従来のがん登録（2013年では年間約3800例）と比較して登録の悉皆性が高いと  
思われた。今後はNCDに登録されたデータの利活用が期待される。

#### A．研究目的

泌尿器科学会での過去の登録状況と現在行っているNCDの現状を調査すること

#### B．研究方法

過去と現在の登録方法の相違が何かを記載する

（倫理面への配慮）

個人が特定されない登録データに基づく比較研究である。また、遺伝子情報などを取り扱う事は無い。

#### C．研究結果

日本泌尿器科学会におけるがん登録事業は2002年に始まったが、腎癌の登録は2013年から始まった。薬物療法を含む全ての腎癌症例を対象に開始された。一方、腎癌に関するNCD登録は2018年から開始したが、周術期の合併症などを把握する事を見据えた手術症例のみの登録である。

従って、従来登録事業とNCD登録を比較すると、前者では薬物療法に関するデータが多く、後者ではほとんど無い。また、周術期のデータは前者と比較すると、後者では登録項目が圧倒的に多い。手術・術式・病理学的事項に関しては、ほぼ同じくらいの登録項目数となっている。

登録の悉皆性についてみると、前の登録事業では、対象施設の20 - 30%、基幹教育施設であっても30 - 35%程度に過ぎなかった。2013年に2007年の症例登録が行われているが、実際には3800例足らずの症例登録が行われたに過ぎない。一方、NCD登録は、専門医制度

における教育認定施設の要件に含まれるため、悉皆性はかなり高いと思われる。2019年末での症例登録数は（未完成、編集中も含めて）約10000例であった。しかし、2019年9月の時点では、教育認定施設のうち約10%はまだ無登録のままであった。

2020年以降、NCDに登録されているデータから医籍登録番号で自身が経験した手術症例を抽出できるNCD-Personsが導入され、会員が施設をまたいで経験した手術症例の管理を行えるようになった。これによって専門医申請や更新に役立てることが可能となる。

#### D．考察

日本泌尿器科学会におけるこれまでの腎癌登録は毎年行われているわけではなく、また、専門医制度との紐付けがなかったため、登録の悉皆性が極めて低かった。一方、NCD登録は専門医制度と紐付けされているため、その登録悉皆性は極めて高いと考える。ただ、教育認定施設の中でもまだ約10%の施設は無登録施設のままである。これはおそらく、その施設に専門研究プログラム中の専攻医がいないため、必要性に迫られていない可能性が考えられる。登録情報に関しては、前者では全情報を登録するのに対して、NCD周術期のデータや手術成績を把握する事を主たる目的としたため、薬物療法などによる長い経過についての登録が不要であった事も登録が進んだ原因と考える。こういった手術に関する登録データは、新規術式の保険収載申請などの際に有用であると思われる。

今後、NCD-Personsの導入により、会員個人の手術症例の管理が容易になり、専門医の申請や更新に活用が可能となる。また、手術関連のリスクカリキュレーターなどの公表も予

想され、会員による正確なデータ入力的重要性が要求される。学会などにおいて、本登録事業の重要性を引き続き会員に周知していく必要があると思われる。

進行性腎癌に対する治療薬が次々と保険収載される中、薬物療法の重要性は高まると考える。従って、手術症例のみならず、進行腎癌に対する登録の重要性が高まると思われるので、今後は進行腎癌に関する NCD 登録も考慮する必要があると思われる。

なし

2. 実用新案登録  
なし

3. その他  
特になし

## E . 結論

従来 of 腎癌登録と比較して、手術症例のみではあるが、NCD 登録を行う事によって、登録の悉皆性は高まったと考える。専門医制度との紐付けが登録悉皆性の向上に役立ったと考えられた。

## F . 健康危険情報

特になし

## G . 研究発表

### 1. 論文発表

なし

腎癌診療ガイドライン(2017年版)の部分修正(WEB上で)あり

### 2. 学会発表

第 107 回日本泌尿器科学会総会

「NCD 運営委員会報告～日本泌尿器科学会における NCD 運営の現状と課題」賀本敏行(2019.4.18 名古屋)

第 84 回日本泌尿器科学会東部総会

「NCD 運営委員会報告～NCD 登録の現状と今後の展望」賀本敏行ほか 3 名(2019.10.4 東京)

第 69 回日本泌尿器科学会中部総会

「NCD 運営委員会報告～NCD の現状と今後の展望」賀本敏行ほか 3 名(2019.10.31 大阪)

第 71 回西日本泌尿器科学会総会

「NCD 運営委員会報告～NCD の現状と今後の展望」賀本敏行ほか 3 名(2019.11.8 松江)

### 3. 書籍

腎癌診療ガイドライン(2017年版)の部分修正(WEB上にて)

## H . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

### 1. 特許取得